

第3学年 美術科 学習指導案

日 時 平成29年11月27日(月)
場 所 一関市立一関中学校 美術室
学 級 3年C組(男子13名 女子14名 計27名)
授業者 教 諭 佐 藤 和 重

1 題材名 BOXART 『私という名の箱』

2 題材について

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領第2学年及び第3学年の内容A表現(1)イ「主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫して、心豊かな表現の構想を練ること。」(3)ア「材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。」に基づいて設定した。

本題材は、小さな箱の中に、さまざまな材料を組み合わせる自分らしい世界を表していくという造形活動である。そこで、「自分らしさ」に主題を見いだし、布や粘土、針金や身近にある物など様々な材料の特性を生かし、自分の表現意図に合う方法を見付けながら表現材料を選択し、組み合わせ方を工夫して、箱の中に自己の世界を表現していく。この題材を通して、新しいものを創造的に生み出す喜びを実感させるとともに、自分自身を深く見つめ、自己の内面を表現する力を育みたい。

(2) 生徒について

3年次で自画像制作に取り組んでいる。その際、コラージュと組み合わせる自画像を描いた。コラージュ段階では、主題を基に工夫しながら主体的に取り組む生徒が多く見られた。反面、自画像を描くときは、思うように主題に迫れず、思いを十分に表現し切れず満足感を得られなかった生徒も多くいた。

本題材では、自画像制作の経験を生かして、様々な表現方法や材料に触れる中で自分に合う表現形式を選択しながら、自ら生み出した主題に基づき、自己と深く向き合い表現できると考える。また、失敗したと感じたときは、その原因を探りながら、表現材料の選択や組み合わせなどを変えることで、解決策を見付けていくことを期待する。

廃品や身の回りの既製品も美術の素材として利用できることや、身近な物を組み合わせることによって思いがけない新たな世界を表現できる楽しさを味わってほしい。

(3) 指導について

題材構成の中に、「つかむ」「考える」「つくる」時間を設定し、本校研究との関わりをふまえながら指導する。

【研究主題】 「考える力」を身につけた生徒の育成 ～思考を揺さぶる場の工夫を通して～

一つ目として、理由付けされた表現活動を行う。

主題設定では、①時間(季節、朝・昼・晩 など)、②空間(風景、建物、部屋など)、③人(家族、友人、自分など)の3つの観点からイメージをふくらませ、生徒にとって自分らしい世界(主題)を見付けさせたい。また、副題を付けることで、イメージを具体的に方向付けたり、主題や表現意図を深めたりしていく。

二つ目として、思考を揺さぶるために「思考のすべ」を用いる場の工夫をする。

表現材料などを「比較、関係付け、分類」することにより、表したいもののイメージをより深く考えさせる。アイディアスケッチでは、キーワードとなる言葉や表現材料を複数上げさせ、一つ一つに込められた意味やメッセージを具体化するとともに、何を表したいのかを明確にさせた。材料体験では、様々な表現材料の組み合わせを試すことで、主題を基にイメージの具体化を図りながら、自分らしい表現の見通しをもたせたい。また、廃品や身の回りの既製品も美術の表現材料となることを実感させたい。制作では、表現材料の準備をできるだけ生徒に収集させたい。

が、多様な表現に対応できる材料を指導者も準備しておく。

三つ目として、参考作品や友だちの作品を鑑賞する。

感性や想像力を働かせて、友だちの作品や参考作品から作者の心情や創造的な表現の工夫などを感じ取り味わうことで、自分の気付かなかった作品のよさを発見できるようにする。また、他のアイディアを参考にさせてイメージを広げさせたい。

3 題材の目標

美術への関心・意欲・態度	自分自身を深く見つめ、自分の存在が投影されているイメージを何かに置き換えて構想し、主体的に表現しようとしている。
発想や構想の能力	「時間・空間・人」3つの観点から自分自身を深く見つめ主題を生み出し、そこから感じ取ったイメージを効果的に表現できるよう構想を練っている。
創造的な技能	材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う材料を選択し、表現方法を工夫して創造的に表現する。
鑑賞の能力	感性や想像力を働かせて、友達の作品や参考作品から作者の心情や創造的な表現の工夫などを感じ取り味わっている。

4 指導計画及び評価規準(11時間)

題材テーマ 主題を基に様々な材料の特性を生かして、自己の世界を創造的に表現しよう。

時数	学習内容	指導内容	時間	評価				
				関	想	技	鑑	
1.5	作品鑑賞 主題設定	・作者の心情や創造的な表現の工夫に気付く。 ・「時間・空間・人」の3観点からイメージをふくらませ、自分らしい世界(主題)をみ付ける。	つかむ 考える	○			○	・作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を主体的に感じ取ろうとしている。 ・感性や想像力を働かせて、友達の作品や参考作品から作者の心情や創造的な表現の工夫などを感じ取り味わっている。自分の気付かなかった作品のよさを発見している。
0.5	アイディアスケッチ	・主題を基に、イメージを効果的に表現できるよう構想を練る。	考える		○			・時間・空間・人の3観点を手がかりに主題を設定し、アイディアスケッチを通して表現の構想を練っている。
1 本時	材料体験	・材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う材料を選択し、表現の構想を練る。	考える	○	○			・感じ取ったことや考えたことを表現することに関心を持ち、主体的に表現の構想を練ったり、表現材料や用具の特性を生かしたりしようとしている。 ・感性や想像力を働かせて、材料の組み合わせなどを考え、主題に合った表現の構想を練っている。
8	制作	・主題を基に、材料や用具の特性を生かし、箱の中に自分らしい世界を表現する。	つく く る	○		○		・主体的に材料や用具の特性を生かそうとしている。 ・感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う独自の表現方法を工夫し、創造的に表現している。

5 本時の指導

(1) 目標

背景や表現材料の組み合わせなどにより表現のイメージが広がることに関心をもち、主題(テーマ)に合う表現方法や材料の組み合わせなどを考えながら表現の構想を練る。

(2) 評価規準

観点	評価規準
美術への関心・意欲・態度	材料体験から感じ取ったことや考えたことに関心をもち、主体的に表現の構想を練ったり、材料や用具の特性を生かしたりしようとしている。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、材料の組み合わせなどを考え、主題に合った表現の構想を練っている。

(3) 本時の学習内容と研究との関わり

ア 理由付けされた表現活動

- ・表現材料の組み合わせや背景を選んだ理由を書くことで表現意図を明確にさせる。

イ 「思考のすべ」を活用した授業展開

- ・様々な表現材料の組み合わせを比較し、そこから感じたイメージと材料体験とを関係付けて、主題に合う表現方法を見付けさせる。
- ・友達の作品のよさを味わうとともに、新たな発見と、よりよい表現方法に気付かせる。

(4) 展開

段落	学習活動 (○主な活動 ・生徒の反応)	形態	指導上の工夫及び留意点	評価
導入 4分	1 学習課題を設定する ○前時の学習内容を確認する。 ○学習課題を立てる。	一斉 一斉	・前時の学習内容を確認し、主題に合った具体的な表現方法は何か問う。 ・学習課題を設定する。	
テーマに合う自分らしい表現方法をみつけよう				
展開 41分	2 見通しをもつ ○表現方法を比較し、そこから生まれるイメージの違いをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人間のようだ。(仲良し, 対決など) ・関係性が生まれる。 ・複雑, シンプル ・楽しい, 寂しい, かわいい, 暗いなど。 ・自然, 都会など。 </div> 3 材料体験をする ○表現材料を組み合わせ「より自分らしく」なるよう配置する。	一斉 個人	・表現材料や背景の組み合わせやから生まれるイメージの違いを感じさせるために、様々な表現方法を提示し、「思考のすべ」を用いる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考のすべ】比較</p> <p>【教師の発問】 表現材料や背景の組み合わせによって、印象はどう変わるか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現材料(増やす, 対比, 強調) ・背景のカード ※箱の種類 ・透明カラーシート(色の効果) </div>	【関】 (発言)
			・材料体験を通して実感させるとともに、表現意図を明確にさせるために「思考のすべ」を用いる。	

	<p>○その中からよい物を選び写真に撮り，工夫点を記述する。</p> <p>4 伝え合いをする ○工夫したところを中心に発表する。 ・表現材料の数や大きさを工夫し，背景との組み合わせを考えることで，「より自分らしく」なるよう工夫できた。</p> <p>5 構想をまとめる ○アイデアの構想をアイデアスケッチにまとめる。</p> <div data-bbox="268 790 608 1081" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・テーマを基に，表現材料や背景を理由を付けて選択できた。 ・材料の組み合わせなどを考え，主題に合った表現の構想を練ることができた。</p> </div>	<p>一斉</p> <p>個人</p>	<p>・「より自分らしく」なるよう表現方法を考えさせ，自分の表現の見通しをもつことができたなら写真に撮って，最後に工夫点を記入させる。</p> <p style="text-align: center;">背景のカード 透明カラーシート</p> <p>・材料体験しながら何人かの生徒に発表させ，悩んでいる生徒へのヒントにする。</p> <p>・早く終わった生徒は，アイデアスケッチへ記入させる。</p> <div data-bbox="715 645 1297 902" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考のすべ】関係付け</p> <p>【教師の発問】 学習した内容(材料体験)を参考にして，自分のテーマに合う表現方法をアイデアスケッチにまとめよう。</p> </div> <p>・スケッチ&文章にまとめさせる。 (1) 箱の中に入れる物 (2) 背景の表現方法や色</p>	<p>【想】 (作品)</p> <p>(発言)</p> <p>【関】 【想】 (スケッチ) (文章)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 振り返る ○本時学習内容を振り返り，気が付いたことや次の活動の見通しについて発表する。 ○テーマに合う表現方法のまとめを発表する。 ・テーマを基に，イメージを広げ，物の配置や数，背景など理由をもって具体化することができた。 ・友達を参考にして，物の配置や，背景など具体化することができた。</p>	<p>一斉</p>	<p>・テーマに合うよう工夫点や改善点を中心に何人かに発表させる。</p>	<p>【関】 (発言)</p>

(5)板書計画

BOXART～私という名の箱～

【学習課題】テーマに合う自分らしい表現方法をみつけよう

工夫ポイント

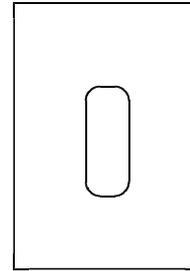
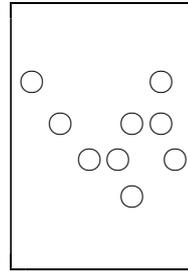
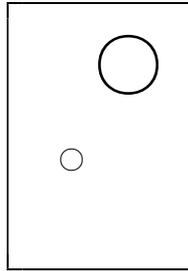
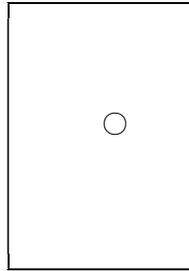
表現材料

数・大きさ・対比

背景

色

組み合わせ



それぞれの印象